

平成31年度 市の予算と事業

平成31年度の予算概要と主要事業、市の財政状況についてお知らせします。皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

問 財政課 財務担当 ☎358-0619

目次

- P 2… 平成31年度一般会計予算の中身を見てみよう
- P 6… 平成31年度に実施する主な事業
- P12… 市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「富谷市総合計画 基本構想 2016～2025」

将来像

住みたくなるまち日本一

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます



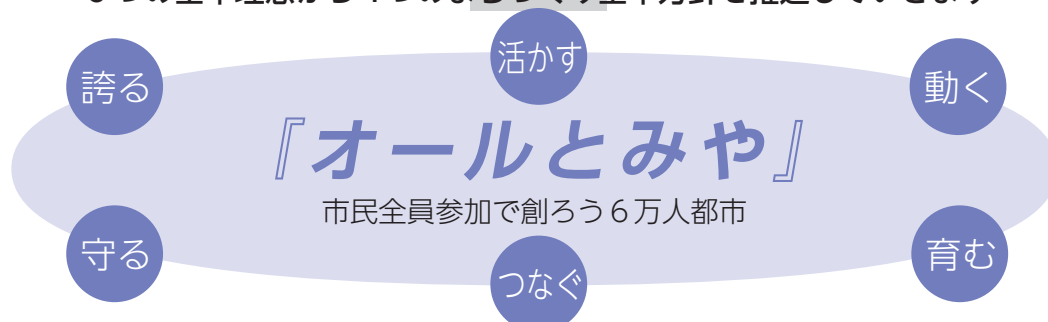
基本方針

| | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 基本方針-1 暮らしを自慢できるまち！ | 基本方針-2 教育と子育て環境を誇るまち！ |
| 基本方針-3 元気と温かい心で支えるまち！ | 基本方針-4 市民の思いを協働でつくるまち！ |

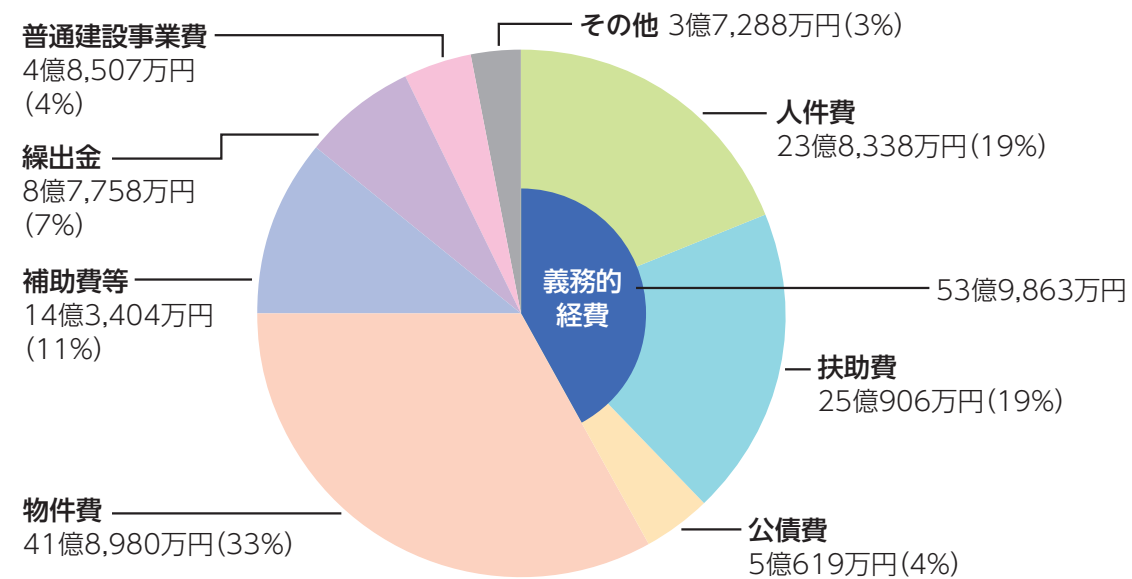
6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



基本理念



歳出(支出) このお金は何に使われるの？



● 義務的経費

人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。

● 物件費

賃金、旅費、交際費、需用費、手数料、備品購入費、委託料、使用料などの経費です。

● 補助費等

各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。

● 繰出金

特別会計等に支出する経費です。

● 普通建設事業費

公共または公用施設の新増設等に要する経費です。

普段の生活に見立てると…

予算を一般家庭(年間収入・支出 621万6,000円*)に見立てると

年間収入

| | |
|-----------------------|------------|
| 給料収入(市税) | 289万8,304円 |
| パート収入(その他) | 99万3,945円 |
| 銀行からの借金(市債) | 30万 359円 |
| 家族からの援助(地方交付税、国・県支出金) | 199万3,216円 |
| 貯金取崩し(繰入金) | 3万 176円 |
| 収入計 | 621万6,000円 |

年間支出

| | |
|---------------------------|------------|
| 生活費(人件費、物件費、予備費等) | 369万5,659円 |
| 自宅の増築(修繕)費(普通建設事業費、維持補修費) | 35万 94円 |
| 子育て費(仕送り・学費等)(扶助費、補助費等) | 192万1,169円 |
| ローン返済(公債費) | 24万6,627円 |
| 貯金(積立金) | 2,451円 |
| 支出計 | 621万6,000円 |

*一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の平均年間収入 621万6,000円に合わせたもの。

平成31年度 一般会計予算の中身を見てみよう！ ～どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？～

まず初めに…

そもそも、予算って何？

1年(4月から翌年3月)に市へどのくらいお金が入ってくるのか(収入)、また行政サービスをどのように行うか(支出)を決めたものです。予算は市議会の審議と議決によって成立します。

一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。補正予算といいます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合などに行います。

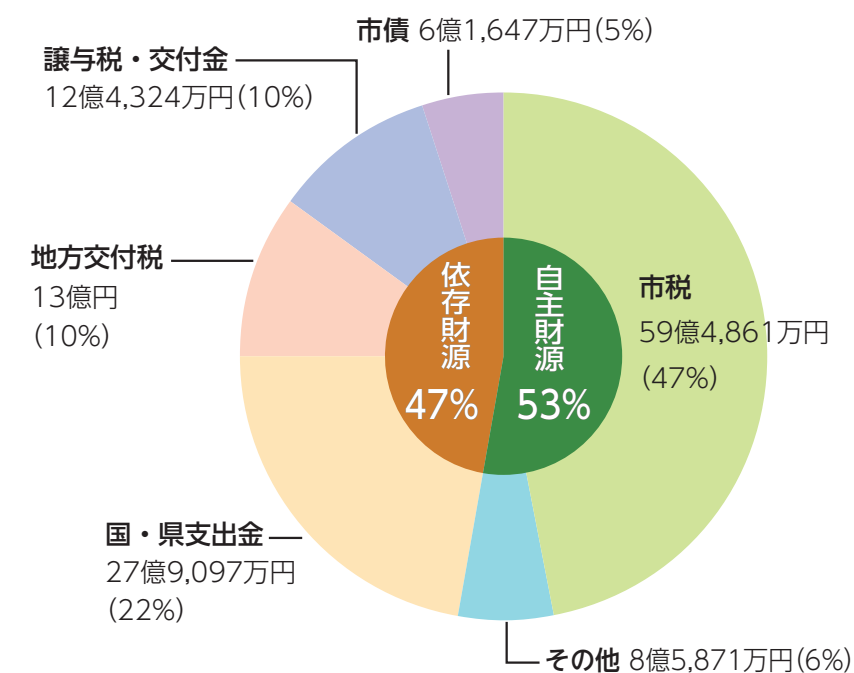
平成31年度 一般会計予算

平成31年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。2月21日開会の平成31年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会(3月8日～13日)の集中審議を経て、3月15日に原案可決され成立しました。

127億5,800万円

(平成30年度:127億1,600万円)

歳入(収入) このお金はどこからやってくるの？



自主財源 53%

68億732万円

市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 47%

59億5,068万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、市債も依存財源に該当します。

● 市税

皆さんが市に納めた税金(市民税、固定資産税、軽自動車税など)です。

● 地方交付税

全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。

● 国・県支出金

国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

● 市債

市が銀行等から借り入れるお金です。

特別会計と水道事業会計の予算

まず初めに…

そもそも、特別会計って何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。
各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

水道事業会計って何？

水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。
安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

◎ 特別会計の予算

| 会 計 | 当初予算額 | 主な内容 |
|---------|------------|--------------------|
| 国民健康保険 | 42億2,455万円 | 国保医療費、特定健康診査など |
| 下水道事業 | 8億3,029万円 | 公共下水道の整備など |
| 介護保険 | 28億7,269万円 | 介護サービス給付費など |
| 後期高齢者医療 | 3億5,263万円 | 後期高齢者医療広域連合への負担金など |

◎ 水道事業会計

| 区 分 | | 当初予算額 | 主な内容 |
|-------|----|------------|------------------------------------|
| 収益的収支 | 収入 | 11億4,441万円 | 収入のほとんどは水道料金で、支出は職員給与や固定資産の減価償却費など |
| | 支出 | 11億3,816万円 | |
| 資本的収支 | 収入 | 0円 | 支出は施設整備・拡充などの資産取得等の経費 |
| | 支出 | 2億 423万円 | |

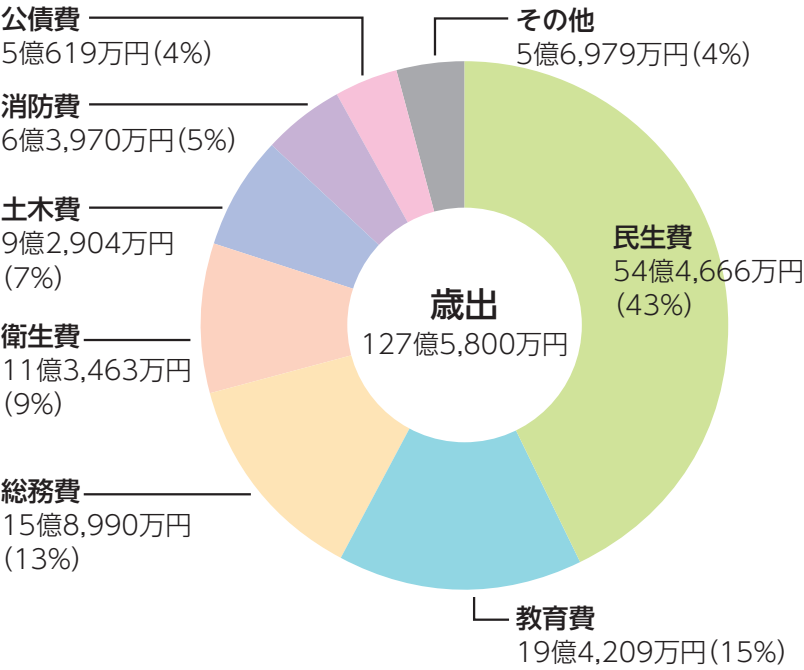
昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると…

| 区 分 | 平成31年度予算額 | 平成30年度との比較 | |
|---------|-------------|-------------|------------|
| | | 予算額 | 増減額 |
| 一般会計 | 127億5,800万円 | 127億1,600万円 | 4,200万円 |
| 特別会計 | 82億8,016万円 | 81億2,171万円 | 1億5,845万円 |
| 国民健康保険 | 42億2,455万円 | 41億 421万円 | 1億2,034万円 |
| 下水道事業 | 8億3,029万円 | 9億5,958万円 | △1億2,929万円 |
| 介護保険 | 28億7,269万円 | 27億1,672万円 | 1億5,597万円 |
| 後期高齢者医療 | 3億5,263万円 | 3億4,120万円 | 1,143万円 |
| 総計 | 210億3,816万円 | 208億3,771万円 | 2億 45万円 |

平成31年度一般会計当初予算は、限られた財源を有効活用するため、2月補正予算との連動（当初予算事業の前倒し計上）を特に意識した編成を講じ、昨年度とほぼ同規模の予算額となりました。

| 区分 | 平成31年度予算額 | 平成30年度との比較 | |
|-----|------------|------------|------------|
| | | 予算額 | 増減額 |
| 民生費 | 54億4,666万円 | 53億2,121万円 | 1億2,545万円 |
| 教育費 | 19億4,209万円 | 19億1,367万円 | 2,842万円 |
| 総務費 | 15億8,990万円 | 14億7,124万円 | 1億1,866万円 |
| 衛生費 | 11億3,463万円 | 11億9,769万円 | △6,306万円 |
| 土木費 | 9億2,904万円 | 11億 34万円 | △1億7,130万円 |
| 消防費 | 6億3,970万円 | 6億3,676万円 | 294万円 |
| 公債費 | 5億 619万円 | 5億1,398万円 | △779万円 |
| その他 | 5億6,979万円 | 5億6,111万円 | 868万円 |

お金の使いみち 実際に何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・障がい者・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借入れたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民一人あたりにすると…

民生費
子どもや高齢者、障がい者の福祉などに
103,610円
(101,087円)

教育費
小中学校・幼稚園など教育のために
36,944円
(36,354円)

総務費
市民バスの運行や交通安全、防犯のために
30,244円
(27,949円)

衛生費
ごみ処理や病気の予防などに
21,584円
(22,752円)

242,691円
(241,565円)
※平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口52,569人で換算しています。
※（ ）内は昨年度の金額です。

土木費
道路や公園などの整備に
17,673円
(20,903円)

消防費
地域の防災や消防団の活動のために
12,169円
(12,096円)

公債費
借金返済に
9,629円
(9,764円)

その他
産業や議会関連経費などに
10,838円
(10,660円)

平成31年度に実施する主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

(3)安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

新公共交通システム推進事業（企画政策課）

..... 1,545万円

「富谷市公共交通グランドデザイン（基本構想）」の基本目標や交通の将来像の実現に向け、各種施策や計画を推進するため、都市・地域総合交通戦略における基本計画を策定します。（国土交通省街路交通調査費補助金活用予定）

市民バス運営事業（企画政策課）..... 4,126万円

市内における交通不便地域の解消と公共施設などへの移動手段を確保するため、市民バス5台を運営します。



市民バス乗り継ぎ運行事業（企画政策課）..... 86万円

泉中央駅へのアクセス向上を図るため、イオン富谷店を拠点とした市民バスと宮城交通バスとの乗り継ぎ運行を行います。

市道穀田三ノ関線道路改良事業（都市整備課）

..... 1億6,300万円

市役所周辺道路の渋滞緩和と道路交通安全性・利便性の向上を図るため、昨年度に引き続き工事を継続します。

富ヶ丘地区舗装修繕事業（都市整備課）..... 1,000万円

富ヶ丘地区の市道の舗装を修繕します。

2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(1)創造性豊かな教育環境のまちを創ります

スクールソーシャルワーカー事業（学校教育課）

..... 195万円

2名のソーシャルワーカーを配置し、小・中学校を定期的に巡回しながら、児童生徒が抱えるさまざまな問題等についての支援や関係機関との連携を図ります。

みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業

（学校教育課）..... 1,127万円

不登校や不登校傾向にある児童・生徒の減少に向け、心のケアを必要とする児童生徒、その保護者の心に寄り添った支援を行います。

外国語指導助手（ALT）活用事業（学校教育課）

..... 2,256万円

ALTを保育所、幼稚園、小・中学校に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化理解、国際感覚の養成を推進します。

(4)住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

（仮称）やすらぎパークとみや整備事業（生活環境課）

..... 5,456万円

公営墓地とパークゴルフ場を一体整備するための基本計画に基づき、2023年度の供用開始に向け、必要な測量調査、基本設計を実施します。

一般公園維持管理事業（都市計画課）..... 8,889万円

市民のレクリエーション・コミュニケーションの場として、公園の機能維持・安全確保・魅力向上を図ります。

大亀山森林公園維持管理事業（都市計画課）

..... 1,999万円

自然とふれあえる身近な森林として、公園の機能維持・安全確保・魅力向上を図ります。



中学生海外研修派遣事業（学校教育課）..... 587万円

台湾の台北市において、現地中学校との交流、現地大学生との協働フィールドワーク、日系企業視察、市内見学、文化体験等を行います。

学校給食センター運営・維持管理事業

（学校給食センター）..... 5億786万円

小学校9校（利府支援学校富谷校を含む）・中学校5校に学校給食を供給します。平成31年度予算においては、学校給食摂取基準の栄養価を改善する観点から、賄材料費を増額します。



1. 暮らしを自慢できるまち！

(1)富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業（産業観光課）..... 3,601万円

地方創生拠点整備交付金を財源に、旧役場庁舎をリノベーションして整備した富谷市まちづくり産業交流プラザ「TOMI+」。起業・創業支援の拠点として運営する経費です。（地方創生推進交付金を活用。）



企業誘致事業（産業観光課）..... 3,978万円

企業立地促進奨励金の効果的な活用により、企業誘致および雇用の促進への積極的な支援を行います。また誘致した企業や地元中小企業の代表者と行政との情報交換のため、（仮称）富谷市内立地企業等懇談会を開催します。

中小企業制度融資事業（産業観光課）..... 6,418万円

中小企業振興資金の融資あっせん制度により、融資に係る保証料の補給や支払利息への利子補給を行い、経営安定の定着を図ります。また、新たに富谷市創業支援資金等融資利子補給制度を創設し、富谷塾との連携を図りながら起業・創業時の負担を軽減します。

労働雇用対策事業（産業観光課）..... 1,520万円

高齢者の就業機会の拡充と雇用機会の拡大を推進します。また、昨年度に引き続き、富谷市シルバー人材センターと連携して、富谷茶復活プロジェクトに取り組みます。



(2)“とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

とみや国際スイーツ博覧会事業（産業観光課）

..... 3,120万円

「スイーツのまち＝とみや」というブランディングを展開し、さらなるシティブランドの確立を図るため、4回目となる「とみや国際スイーツ博覧会」を開催します。またスイーツの駅基本計画の策定に向けて準備を進めます。（地方創生推進交付金を活用。）



街道まつり運営事業（産業観光課）..... 573万円

しんまち通りを中心に2020年の「富谷宿」開宿400年を視野に入れた街道まつりを開催します。（地方創生推進交付金を活用。）



とみやはちみつプロジェクト事業（農林振興課）

..... 80万円

市役所庁舎屋上での養蜂・採蜜を継続するとともに、養蜂家育成の支援と蜜源拡大事業を行います。



農作物有害鳥獣等駆除事業（農林振興課）..... 205万円

イノシシによる農作物被害防除対策を進めるとともに、春・秋に定期的に行う有害鳥の捕獲、突発的な熊の出没による箱わな設置、捕獲隊員による巡回、危険防止の看板設置を行います。また電気柵設置に対する補助金を交付します。

放課後児童クラブ整備事業（子育て支援課）
……………1億268万円

市内小学校のうち、活動場所が唯一学校敷地外（富谷中央公民館）となっていた富谷小学校放課後児童クラブについて、専用棟を小学校敷地内に整備します。



あけの平小学校児童クラブ棟

妊婦支援事業（子育て支援課）……………4,819万円
母子手帳交付の際に妊婦の心身状態を確認し、必要な支援を行うほか、妊婦健診費用の助成やプレママ学級等を開催します。

子ども医療費助成事業（子育て支援課）
……………2億7,726万円
0歳から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもにかかる医療費のうち、保険診療によ

る自己負担額を助成します。
※一部負担金、所得制限あり

感染症予防事業（子育て支援課）……………1億2,756万円
麻しん風しん、四種混合、日本脳炎、BCG、Hib、小児肺炎球菌等、各種予防接種に対する助成を行います。

特定不妊治療事業（子育て支援課）……………500万円
不妊治療を受けているご夫婦に対し、経済的・精神的負担の軽減を図るため、特定不妊治療費の一部助成を実施します。

子育て支援事業（子育て支援課）……………2,663万円
子育て支援センターを拠点として、乳幼児健康診査、離乳食教室のほか、育児相談や2歳6か月児の歯科保健指導を行います。



3. 元気と温かい心で支えるまち！

(1)あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

敬老祝い事業（長寿福祉課）……………1,913万円
各町内会の敬老祝い事業に対して、助成を行うとともに、各節目の年齢を迎える方へ、祝金を支給します。



一般介護予防事業（長寿福祉課）……………191万円
地区の身近な会館等で開催している高齢者の閉じこもり予防や交流の場を推進する「ゆとりすとクラブ・サロン」等を実施します。



高齢者在宅生活支援事業（長寿福祉課）……………2,311万円
高齢者が安心して在宅生活を過ごしていけるように、給食サービス、元気回復ショートステイ、緊急通報システム等の事業を実施します。

地域包括支援センター運営事業（長寿福祉課）
……………5,138万円

各圏域の地域包括支援センターの運営および指導調整など、地域包括ケアシステムの構築を目指すため、保健福祉総合支援センターの機能強化を図り、圏域ごとの地域力を活かしながら運営します。



介護予防・日常生活支援サービス事業（長寿福祉課）
※筋トレ型通所・サロン型通所等
……………5,184万円

要支援認定者等を対象に、運動サポーターやボランティアを活用し、住民の相互協力のもと、運動機能向上や他者交流を目指したプログラムを提供することで、要支援・要介護状態への進行を防止します。

市立小学校運営事業（教育総務課・学校教育課）…7,955万円
市立小学校8校の運営経費です。

市立小学校維持管理事業（教育総務課）…1億1,237万円
市立小学校8校の維持管理経費です。

市立中学校運営事業（教育総務課・学校教育課）…5,415万円
市立中学校5校の運営経費です。

市立中学校維持管理事業（教育総務課）……………7,922万円
市立中学校5校の維持管理経費です。



成田中学校

幼稚園就園奨励費補助事業（教育総務課）
……………1億1,696万円
私立幼稚園に通園する家庭に対して、補助金を交付します。

(2)あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

図書館整備事業（図書館開館準備室）……………543万円
センター館と分館が一体となったネットワーク型図書館の2022年度開館に向け、外部資金調達の取り組みを積極的に進めるとともに、開館後の運営を見据えた管理運営計画策定等を行います。



図書館整備基金費（図書館開館準備室）……………300万円
富谷市民図書館基金を設置し、企業版ふるさと納税などにより調達を予定している外部資金等を適切に管理し、図書館整備および将来的な運営を円滑に進めます。

総合運動公園運営・維持管理事業（生涯学習課）
……………5,827万円

本市のスポーツ施設の中核として、誰もが楽しく安全にスポーツ・レクリエーション活動を行えるように適切な維持管理を図ります。



公民館維持管理事業（公民館）……………8,544万円
地域における学習・交流の拠点である公民館の利用が、安全に快適で円滑に行われるように、施設の維持管理・整備を図ります。



成田公民館

(3)伝統と文化を誇れるまちを作ります

民俗ギャラリー運営・維持管理事業（生涯学習課）
……………347万円

民俗、考古、歴史資料等の収集・保存・調査を行い、適切な展示や企画展を通じ、郷土を学ぶ場の提供を図ります。



(4)地域で子育てを支えるまちを創ります

認可保育所運営事業（子育て支援課）……………7億855万円
認可保育所4園や認定こども園3園、小規模保育園3園に対して運営経費を助成します。



とみや杜の橋こども園

保育所運営・維持管理事業（子育て支援課）
……………1億7,198万円

市立保育所4所の運営・維持管理を行います。



富谷保育所

4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(1)日常生活が安全で包まれたまちを創ります

災害対策総務事務（防災安全課）……………492万円

災害時の情報発信に有効となる安全・安心メールを運用します。また地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の設立と活動を支援します。



消防ポンプ整備事業（防災安全課）……………655万円

富谷市消防団の機動力向上のため、第一分団穀田班へ小型動力消防ポンプ軽積載車を配備します。



消防施設整備事業（防災安全課）……………565万円

富谷市消防団第一分団穀田班へ配備する小型動力消防ポンプ軽積載車の格納庫を整備します。

防犯設備整備事業（防災安全課）……………276万円

安心安全のまちづくりに資するため、昨年度に引き続き、県の市町村振興総合補助金を活用して、市内各中学校区に1台ずつ、計5台の防犯カメラを設置します。



道路交通安全施設整備事業（都市整備課）……2,892万円

道路交通安全を確保するため、道路区画線や路面標示等の整備のほか、道路照明灯（街路灯）や防護柵、カーブミラーなどの交通安全施設の整備と維持管理を行います。

(2)持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

再生可能エネルギー推進事業（生活環境課）……………1,100万円

みやぎ環境交付金（市町村提案型）を活用し、市民と全国中・高校生、研究者等との交流を通じた水素エネルギーへの理解を深める場として、「（仮称）未来水素エネルギーフォーラム in TOMIYA」を開催します。

一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）……………2億3,425万円

生活系一般廃棄物の収集運搬等を委託します。

(3)健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

広報・広聴事業（市長公室）……………1,077万円

毎月発行する広報紙やLINE、フェイスブック、インスタグラム等によって、市政に関する情報を市内外へ発信します。



町内会館整備事業（市民協働課）……………423万円

（仮称）西成田会館建築に向け、工事設計業務と地質調査を行います。

市民協働推進事業（市民協働課）……………34万円

とみやわくわく市民会議の開催やまちづくりの基本となるルールの策定に向けた検討など、市民協働の取り組みを推進します。



自治振興事業（市民協働課）……………1,654万円

地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し、地域活動を支援します。

職員研修事業（総務課）……………313万円

富谷市人材育成基本方針に基づき、職場内研修や積極的な研修派遣を実施します。

情報セキュリティ対策事業（総務課）……………333万円

番号制度施行により、外部監査・自己点検等の安全管理措置を実施します。

介護予防・日常生活支援サービス事業（長寿福祉課）……………1,162万円

※生活支援型訪問等……………1,162万円

要支援認定者等を対象に、一定の研修を終了した生活支援員による身体介護等を伴わない家事等の日常生活上の支援を提供することで、地域で自立した日常生活が継続していけるよう支援します。



社会福祉協議会補助事業（長寿福祉課）……………2,993万円

地域福祉事業を展開する富谷市社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付します。

住民検診事業（健康推進課）……………1億7,112万円

乳がん、大腸がん、胃がん検診等がん検診や成人歯周疾患検診などの住民検診を実施します。

感染症予防事業（健康推進課）……………2,719万円

高齢者肺炎球菌ワクチンや高齢者インフルエンザワクチン予防接種に対して助成します。

健康づくり、食育推進事業（健康推進課）……………331万円

市民の健康意識向上を図り、生活習慣病予防の健康講座や健康相談および食を通して豊かな心とからだを育むため、各種保健事業を実施します。

健康推進員育成事業（健康推進課）……………257万円

健康推進員へ地域の健康づくりに必要な知識等についての研修会を開催します。



黒川地区休日当番医事業（健康推進課）……………263万円

黒川医師会と連携し、休日や祝日の当番医を設置します。

後期高齢者医療制度運営事業（健康推進課）……………3億2,799万円

宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な運用を図ります。

(2)高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

地域生活支援事業（地域福祉課）……………3,094万円

障がい者等の重度化や高齢化、親亡き後に備え、地域における生活の安心感の担保を図るとともに、重度障害にも対応できる専門性を有し、障がい者等やその家族の緊急時に迅速かつ確実な相談支援や短期入所等の受入先を確保するため、地域生活支援拠点を整備します。また、障がい者相談ニーズに的確に対応するため、市役所内の「障がい者相談支援窓口」を週2日から週3日に拡充します。



障害者自立支援給付事業（地域福祉課）……………4億1,830万円

障がい者の自立と社会参加の支援等のため、障害者総合支援法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。

障害児通所支援事業（地域福祉課）……………1億9,259万円

障がい児の生活能力の向上等の支援のため、児童福祉法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。

高齢者・障がい者交通対策事業（長寿福祉課・地域福祉課）……………4,249万円

70才以上の高齢者および障がい者への交通支援「とみぱす」事業を実施するとともに、介助があっても公共交通機関の利用が困難な方を対象に、タクシー利用に対して助成します。



(3)身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

生活困窮者自立支援促進事業（地域福祉課）……………1,868万円

自立相談支援、就労準備支援等、生活困窮者が自立できるよう包括的な支援を行います。

生活保護扶助事業（地域福祉課）……………1億1,933万円

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長するため、生活保護費を支給します。

市の財政状況について ― 市の基金（貯金）と市債（借金）

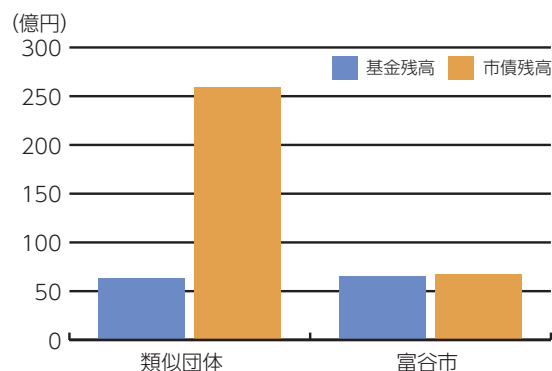
2年連続で財政調整基金を取り崩さない予算編成をしています

市債の残高は、平成31年度末で約70億636万円になる見込みです。（今後の財政運営により増減します。）平成31年度末市民一人あたりに換算すると、約13万3,300円の借金となる見込みです。

国内の産業構造および人口が類似している市の平均と比べると、平成29年度決算時点で住民一人あたりの借金は平均が約35万9,000円に対し、富谷市は12万8,000円となっています。

基金は、35年ぶりに取り崩さなかった前年度に引き続き、2年連続で財政調整基金からの取り崩しはありませんでした。なお、ユーマイタウン施設整備基金については、富谷小学校放課後児童クラブの建設に充てています。

類似団体との基金と市債残高の比較



※類似団体については、平成30年8月公表数値となっています。

市債（31年度新規借入見込額）の状況

道路整備事業債につきましては公共事業等債を借り入れる予定です。

また、臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借り入れを予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

| 充当事業 | 借入額 |
|---------|-----------|
| 道路整備事業債 | 9,540万円 |
| 臨時財政対策債 | 5億2,107万円 |

主な基金の取り崩し状況

| 基金名 | 取崩額、充当額 | 平成31年度の充当事業 |
|---------------|---------|--------------|
| ユーマイタウン施設整備基金 | 6,000万円 | 放課後児童クラブ整備事業 |
| 長寿社会福祉基金 | 136万円 | 社会福祉協議会補助事業 |
| とみやスイーツ基金 | 57万円 | とみやスイーツ活性化事業 |

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て予算案を編成します。

平成30年

| | |
|-------|---|
| 4月下旬 | スプリングレビュー（当初予算編成に向けた事務事業の見直し）を実施 |
| 9月中旬 | 予算編成方針調整期間 国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入(収)入額を見込み、必要な情報を収集 |
| 9月下旬 | 平成31年度予算編成方針決定・発表 |
| 10月中旬 | 予算見積書作成 各部各課において見積書を作成 |
| 10月下旬 | 予算見積書財政課提出締切 |
| 11月上旬 | 市長レクチャー |
| 12月中旬 | 第一次査定（企画部長・財政課査定） |
| 12月下旬 | 第二次査定（副市長査定） 財政課長から副市長に第一次査定結果の提示 |

平成31年

| | |
|------|--|
| 1月上旬 | 第三次査定（市長査定） ・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・平成31年度当初予算案確定（予算書印刷） ・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知 |
| 2月下旬 | 議案審議 予算書配布 予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置 |
| 3月中旬 | 予算案の議決 |
| 4月 | 新年度予算執行開始 |